



ごあいさつ

多摩市議会 50年のあゆみ 刊行にあたり

多摩市議会 第32・33代議長

藤原 正典

このたび、多摩市議会 50周年を記念して、「多摩市議会 50年のあゆみ」を刊行することとなりました。これもひとえに市民の皆様をはじめ、関係者の皆様の深いご理解とご協力の賜物であり、心から感謝を申し上げる次第です。

市政施行および市議会がスタートした昭和46年(1971年)11月、多摩市の人口はおよそ4万4千人でした。その後、多摩ニュータウンの開発とともに急速に発展してきた現在は、面積21平方キロメートル、人口はおよそ14万8千人。この小さな街も緑の多さでは人口一人あたり16.16平方メートルと東京都内でも有数の広さを誇り、豊かな自然に囲まれた美しい街に成長して参りました。

多摩市議会では平成22年(2010年)9月に東京都内で初めて議会基本条例を施行し、様々な切り口から議会改革に取り組んで参りました。昨今、議会の自律や存在価値が問われる中、議論を尽くし市民とともに歩む環境づくりに努力してきたそのプロセスは全国の議会の先駆的な存在となり、各方面から視察が相次いだことは、まさに我々の誇りでもあります。

昨今は新型コロナウイルスの蔓延によって社会構造が変わり、議会を取り巻く環境や機能も変化を求められております。市民の信頼と負託に更に応えるため、古い仕組みを見直し、未来のために思い切った改革を進める必要があります。これからも、引き続き開かれた、そして活力とスピード感に溢れた議会を目指し、不断の努力を続けて参ります。

本記念誌では、それぞれの時代に起きたニュースや事件を取り上げながら、多摩市議会が歩んできた歴史を紹介しております。皆様が、その時代におけるご自身の思い出を振り返りながら、本記念誌をお楽しみいただければ幸いです。

最後に、多摩市発展の礎を築かれたすべての方々に対し、心から感謝と敬意を表すとともに、今後も市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げ50周年記念誌刊行の言葉といたします。

令和3年(2021年)11月